

様式第14号（第5条関係）

令和 4年 4月 1日

笠岡市長 殿

所在地 笠岡市真鍋島4093
 協議会名 真鍋島まちづくり連絡協議会
 協議会長名 会長 川辺 昭政

まちづくり計画策定状況： ○ 策定済み ● 未策定

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）交付申請書

笠岡市魅力あるまちづくり交付金の交付を受けたいので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第5条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

1 交付申請額 725,000 円

〔内訳〕

（単位：円）

活動No (優先順位)	活動名	インフラ上 限加算対象	申請額
1	山道の整備・保全事業		377,000
2	真鍋島定住促進プロジェクト		71,000
3	真鍋島フットパス事業 - 真鍋島にあった!! こころのふるさと 歴史とアートをめぐる島旅 -		277,000
			0
			0
			0

【添付書類】

- (1) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動計画書（様式第15号）
- (2) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支予算書（様式第16号）
- (3) まちづくり計画（地域計画）などの計画書類（既に策定済みの地域のみ）
- (4) その他参考となる書類

様式第15号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動計画書

協議会名 真鍋島まちづくり連絡協議会

活動No	1
活動名	山道の整備・保全事業

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	山道散策と観光地を推進。
【効果】	瀬戸内の景観が楽しめる。来島者との交流、コミュニケーション作りができる。

2 実施期間

令和 4 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日
 (計画期間 1 年中 1 年目)

3 実施場所

島内全域

4 活動に関わる人数・団体（予定）

○総人数： 7 人（ア+イ）
 （内訳）企画運営に関わる人数： 2 人（ア）
 その他関係人数（当日参加者等）： 5 人（イ）
 ○団 体： (団体名) _____ , (団体名) _____
 (団体名) _____ , (団体名) _____

5 実施内容

島内全域の山道の草刈り、掃除と不用木の伐採、倒木の片付けと草枯らしの散布。平地から頂上への道に冬場枯れ葉がたまって滑りやすく、歩くのに危険であり清掃も実施する。活動成果の島内外への周知を強化する。（掲示板、インターネット等により）

6 予算額

377,000 円（うち交付金分 377,000 円）

※ 複数年活動の場合は、実施内容及び予算額の欄に、計画期間中の年度ごとの内容がわかるように記載すること。

様式第16号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支予算書

協議会名 真鍋島まちづくり連絡協議会

活動No	1
活動名	山道の整備・保全事業

【収入の部】

(単位：円)

費目	金額	摘要
市交付金	377,000	当該年度分
		前年度からの繰越分
その他収入	0	
計	377,000	

【支出の部】

(単位：円)

費目	金額	摘要
報償費	310,000	別紙《収支予算内訳書》のとおり
旅費	0	〃
需用費	65,000	〃
役務費	2,000	〃
使用料及び賃借料	0	〃
備品購入費	0	〃
	0	〃
	0	〃
計	377,000	

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

《収支予算内訳書2》

需用費

内 容	金 額	積 算
計	65,000	

役務費

内 容	金 額	積 算
記入例) ハガキ代	5,040	連絡用ハガキ63円×20人×4回=5,040円
物品運搬手数料	2,000	船賃@500×4=2,000
計	2,000	

《収支予算内訳書 3》

使用料及び賃借料

内 容	金 額	積 算
記入例) 集会所使用料	5,000	500円×10回=5,000円
計	0	

備品購入費

内 容	金 額	積 算
記入例) 動画撮影用ハン ディーカメラ	31,818	ソニー デジタルビデオカメラ 31,818円×1台
計	0	

0

内 容	金 額	積 算
計	0	

0

内 容	金 額	積 算
計	0	

※欄が足りない場合は協働のまちづくり課へ連絡ください。

様式第15号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動計画書

協議会名 真鍋島まちづくり連絡協議会

活動No	2
活動名	真鍋島定住促進プロジェクト

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	真鍋島では担い手世代や児童生徒数の減少が深刻化しており、地域力の低下とともにコミュニティの核である学校の存続も危ぶまれている状況である。このため子育て世帯の定住を促進する。子育て世帯のいる他の島とつながりも深める。
【効果】	子育て世帯の定住を促進することによって両問題の解消を図るとともに、マンパワーの増強によって地域づくりの新たな一手につながる事が期待できる。

2 実施期間

令和 4 年 6 月 1 日 ~ 令和 5 年 3 月 31 日
 (計画期間 年中 年目)

3 実施場所

真鍋島 笠岡諸島

4 活動に関わる人数・団体（予定）

○総人数： 15 人（ア+イ）
 （内訳）企画運営に関わる人数： 10 人（ア）
 その他関係人数（当日参加者等）： 5 人（イ）
 ○団 体： (団体名) , (団体名)
 (団体名) , (団体名)

5 実施内容

島外に対し定住促進プロジェクトの周知を図りつつ、Iターン希望者に対しての真鍋島の生活に関する情報を提供するとともに、ツアー実施によって住宅や仕事事情、島民との交流や子育てに関する懇談などにより詳細な島暮らしの魅力を体験的な活動を通して認知してもらい、定住につなげる。また他の島の子育て世帯が交流を持つ機会も船の便の関係、それぞれの仕事事情等でなかなか難しく、集まれる機会をもつ。

6 予算額

71,000 円（うち交付金分 71,000 円）

※ 複数年活動の場合は、実施内容及び予算額の欄に、計画期間中の年度ごとの内容がわかるように記載すること。

様式第16号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支予算書

協議会名 真鍋島まちづくり連絡協議会

活動No	2
活動名	真鍋島定住促進プロジェクト

【収入の部】

(単位：円)

費目	金額	摘要
市交付金	71,000	当該年度分
		前年度からの繰越分
その他収入	0	
計	71,000	

【支出の部】

(単位：円)

費目	金額	摘要
報償費	0	別紙《収支予算内訳書》のとおり
旅費	30,000	〃
需用費	8,000	〃
役員費	0	〃
使用料及び賃借料	0	〃
備品購入費	0	〃
宿泊費	33,000	〃
	0	〃
計	71,000	

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

《収支予算内訳書2》

需用費

内 容	金 額	積 算
計	8,000	

役務費

内 容	金 額	積 算
記入例) ハガキ代	5,040	連絡用ハガキ63円×20人×4回=5,040円
計	0	

《収支予算内訳書3》

使用料及び賃借料

内 容	金 額	積 算
記入例) 集会所使用料	5,000	500円×10回=5,000円
計	0	

備品購入費

内 容	金 額	積 算
記入例) 動画撮影用ハン ディーカメラ	31,818	ソニー デジタルビデオカメラ 31,818円×1台
計	0	

宿泊費

内 容	金 額	積 算
島相談、交流	33,000	5,500円×6人
計	33,000	

0

内 容	金 額	積 算
計	0	

※欄が足りない場合は協働のまちづくり課へ連絡ください。

様式第15号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動計画書

協議会名 真鍋島まちづくり連絡協議会

活動No	3
活動名	真鍋島フットパス事業 - 真鍋島にあった!! こころのふるさと 歴史とアートをめぐる島旅 -

1 目的、活動実施により期待される効果

目的	真鍋島全体に歴史・文化・町並み・自然などの島特有の風土とアートが体験できる歩くルートを整備し、島の一年間の祭や行事などの歳事に対応したプランも提供して、真鍋島古来の生活が体験できる「島旅」をガイドと共に巡り、島民が主体的に行う本活動を通じて人の流れと経済の流れをつくり、観光客への「おもてなし」としながら交流人口・関係人口の醸成を目的とする。
効果	ルートを整備する事で、観光客の滞在時間・日数の増加となり、観光事業に関わる運送業・宿泊業・飲食業への波及効果が絶大となる。さらに道西喜代吉氏画集に残された貴重な近代史料と、その時代を知る島の古老たちの語りを集約しルートマップに見える化する事が真鍋島固有の広報活動となり、次代の島づくりビジョンの柱となる観光事業による経済波及効果が期待できる。

2 実施期間

令和 4 年 6 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日
 (計画期間 3 年中 1 年目)

3 実施場所

笠岡諸島真鍋島全域

4 活動に関わる人数・団体（予定）

○総人数： 194 人（ア＋イ）
 （内訳）企画運営に関わる人数： 44 人（ア）
 その他関係人数（当日参加者等）： 150 人（イ）
 ○団 体： （団体名） 真鍋島まちづくり連絡協議会 ， （団体名） 真鍋島歴史文化研究会
 （団体名） 真鍋島公民館 ， （団体名） 真鍋島観光協会

5 実施内容

令和4年度①道西喜代吉氏画集展覧会を真鍋島内で開催(来場者に真鍋の郷土料理も提供) 本展の活動報告書を発行し、島内各世帯に配布 (令和5年度にも笠岡市本土側で開催予定) ②歴史・文化・自然などの目的別ルート及び海・山ルートの難易度別ルートを作成 令和5年度③インターネット上で閲覧できるマップサイトを製作し、古老たちとの対話や上記展覧会の活動報告書の情報をマップサイトに見える化 ④無料配布する紙媒体のルート地図を製作し、関係機関や団体に配布を依頼し、観光客に手渡して広報活動にも利用 令和6年度⑤歩くルートのサイン計画（トータルデザインによる進路方向・位置情報のサイン、歴史文化情報の解説掲示板の設置）

6 予算額

727,000 円（うち交付金分 277,000 円）

※ 複数年活動の場合は、実施内容及び予算額の欄に、計画期間中の年度ごとの内容がわかるように記載すること。

様式第16号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支予算書

協議会名 真鍋島まちづくり連絡協議会

活動No	3
活動名	真鍋島フットパス事業 - 真鍋島にあった!! こころのふるさと 歴史とアートをめぐる島旅 -

【収入の部】

(単位：円)

費目	金額	摘要
市交付金	277,000	当該年度分
		前年度からの繰越分
その他収入	450,000	
公益財団法人福武財団	450,000	2022年度 瀬戸内海地域振興助成（印刷製本費に充当）
計	727,000	

【支出の部】

(単位：円)

費目	金額	摘要
報償費	106,000	別紙《収支予算内訳書》のとおり
旅費	0	〃
需用費	611,000	〃
役務費	0	〃
使用料及び賃借料	10,000	〃
備品購入費	0	〃
	0	〃
	0	〃
計	727,000	

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

《収支予算内訳書1》

報償費

内 容	金 額	積 算
記入例) 講師謝礼	50,000	10,000円×5回
受付等謝金	56,000	(午前3時間+午後3時間)×2人×14日間=56,000円
調理謝金	50,000	2,000円×5人×5日間=50,000円
計	106,000	

旅費

内 容	金 額	積 算
記入例) アドバイザー旅費	15,400	岡山駅⇄笠岡駅 1,540円×10回=15,400円
計	0	

需用費

内 容	金 額	積 算
記入例) 飲料費	8,000	作業用お茶代100円×20人×4回
消耗品費② (展示材料)	66,509	ハレパネ(写真貼付用台紙) : 14,858円(21枚:7mm厚A2)+ 6,216円(7枚:7mm厚B2)+7,060円(2枚:7mm厚B0)=28,134円 保護パネル(ニューファンシーパネル):38,375円(21枚:無反 射A2) 計: 28,134円+38,375円=66,509円
消耗品費③ (コロナ予防)	1,500	来場者用手指消毒アルコール: 600円×2本=1,200円 来場者用マスク: 300円×1箱=300円 1,200円+300円=1,500円
印刷費① (展示用写真)	84,700	道西氏の絵画: 69,300円(42枚:A3カラー写真) 真鍋島の昔の写真: 15,400 円(20枚:A4カラー写真)計: 69,300円+15,400円=84,700円
印刷費② (展示用印刷物)	8,120	年表とマップ: 8,120円(2枚:B2カラー)
印刷製本費	450,000	2022年度 瀬戸内海地域振興助成で対応

《収支予算内訳書2》

需用費

内 容	金 額	積 算
計	611,000	

役務費

内 容	金 額	積 算
記入例) ハガキ代	5,040	連絡用ハガキ63円×20人×4回=5,040円
計	0	

《収支予算内訳書3》

使用料及び賃借料

内 容	金 額	積 算
記入例) 集会所使用料	5,000	500円×10回=5,000円
会場費・借料	9,200	岩坪会場使用料2,100円/日×2日間=4,200円 本浦会場電気代2,000円(12日間) 本浦会場水道代3,000円(12日間)
		計：4,200円+2,000円+3,000円=9,200円
計	10,000	

備品購入費

内 容	金 額	積 算
記入例) 動画撮影用ハンディーカメラ	31,818	ソニー デジタルビデオカメラ 31,818円×1台
計	0	

0

内 容	金 額	積 算
計	0	

0

内 容	金 額	積 算
計	0	

※欄が足りない場合は協働のまちづくり課へ連絡ください。